



異種

女奴

妊孕奇譚

第一幕



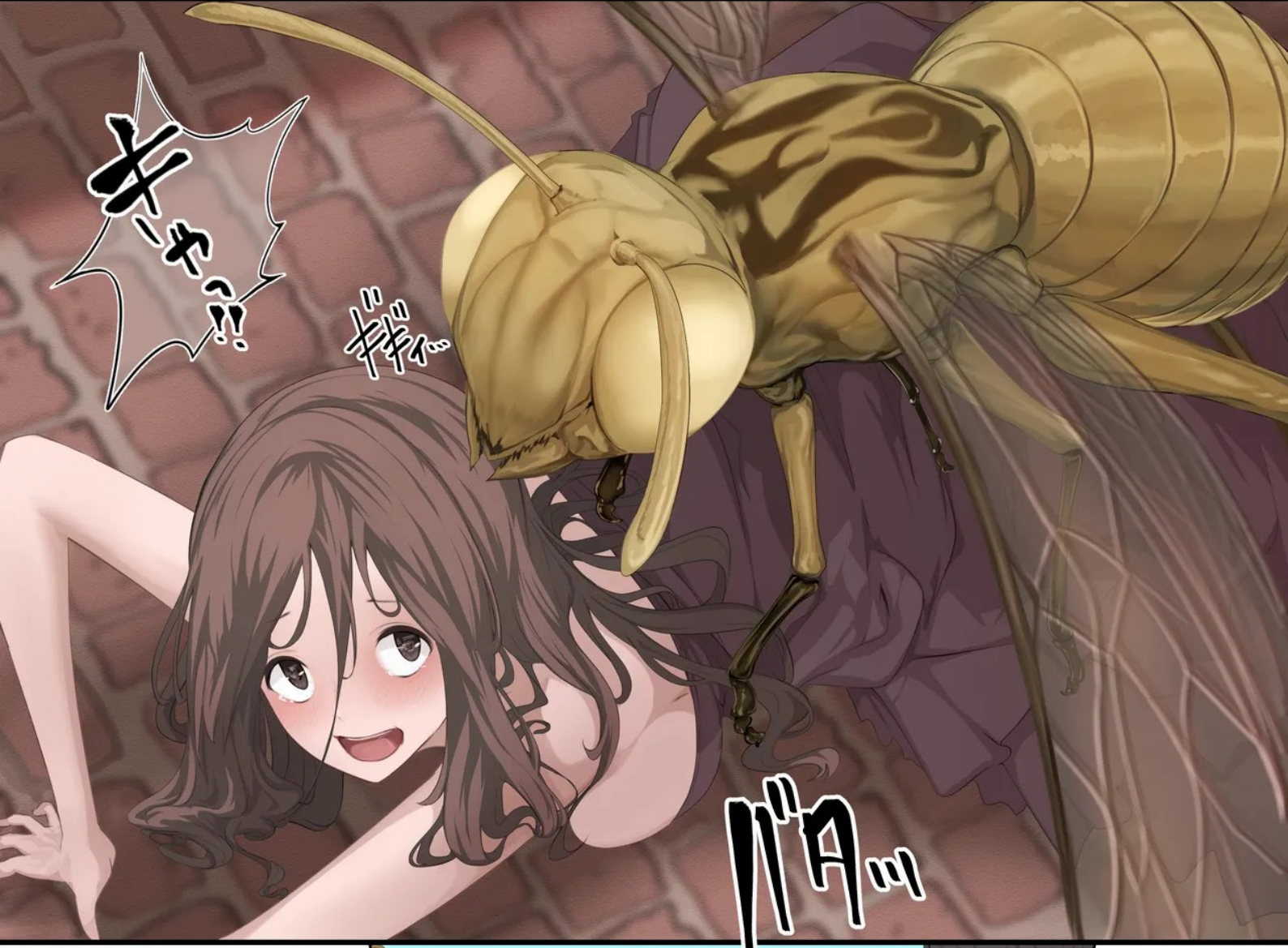
「」

「」

「」

「」

「」



キヤッ!!

「」

「」



私のことは
いいから
はやく
逃げなさい!!

ママ!!



ガッパ

!!!

グググ

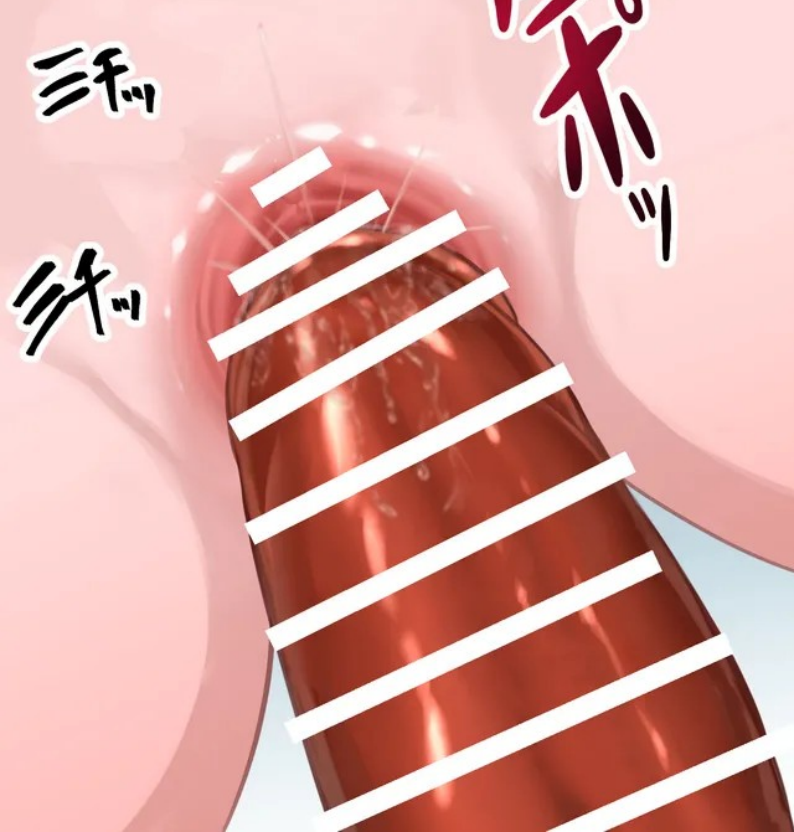
グググ

ビーン ビーン

グググ

グググ

ゴッポ



チン

チン

あ.....





!? !?

んっ
あぁ

んっ!!

たっ
たっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

んっ
んっ

んっ
んっ

たっ
たっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

んっ
んっ

ズッ
ズッ

んっ
んっ

んっ
んっ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

クッ
クッ

クッ
クッ

クッ
クッ

クッ
クッ

クッ
クッ
クッ
クッ

クッ
クッ

クッ
クッ
クッ
クッ



騎士様…!!



エタンダールさま



ありがとうございます…

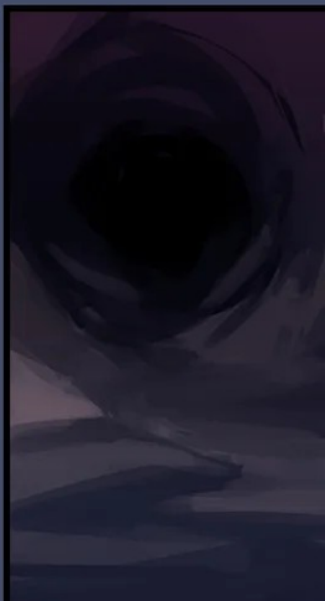
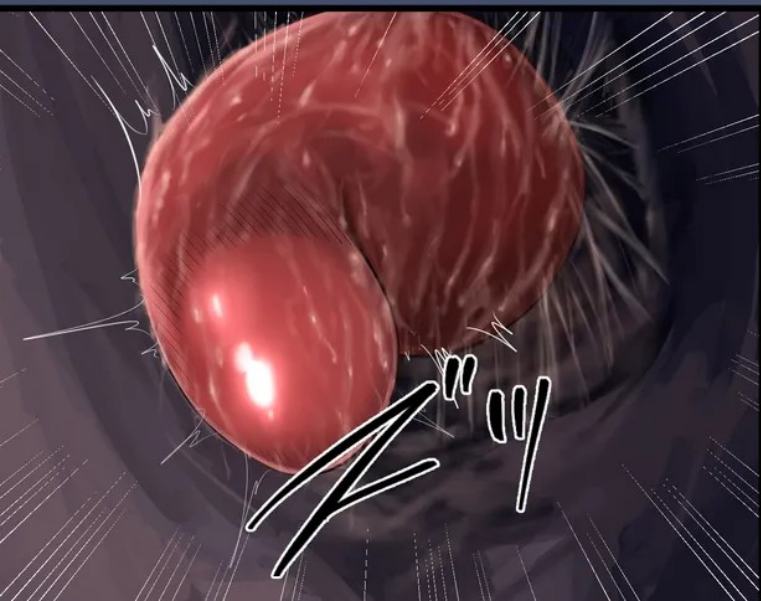


その…

間に合わなかった…
申し訳ない…

いえ…

このまま
助けられなかったら
私たちは…







はっはっはっ

ぐわっ

じゅん

じゅん

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ...

ぐわっ...

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

キーン!

ドッ!!

グビュ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ビュッ♡

ドッ...

桐桐

不覚……!!



ここはとある
海沿いの小さな街



幸運にも
偶然ここに駐在していた
外征騎士団がこれに対処



何事もない
平和な街だったのが
1か月前
突如狂暴な魔物が出現し
街は滅亡の危機に瀕する



以降
女神の加護を授けられし
少女騎士エタンダールを
旗頭に魔物を
討伐し続けていた。



エタンダール……
いくらお前が
騎士だとしても

そんな食事じゃあ
体が持たんぞ

ぞ
ぞ

実際今日の戦いは
かなり危うかった
んじゃないか？

もう少し休め



バタン!!

私が休んでいる間に
魔物の大群が襲ってきたら
この街は滅んでしまう



承知している……

しかし
余裕はないんだ

ん？



誰だ

また彼女らか

エタンドール様!!

あなたたち騎士と共に
戦わせてください!!

ありがたいが
気持ちだけ
受け取っておこう

君たちを危険に
晒すわけにはいかない

騎士として……

だめ……

ですか……

俺たちがこの街にきて
魔物の退治をするように
なってから1か月……

さすがにそろそろ
きつくなってきた

もともとあった
任務はキャンセルされ
前より過酷な
任務になっちまって

うちの連中も
限界がきてる

しかし
街を守るため
仕方のないことだ

今はここに住む人たちの
安全を確保するのが先だ

まあ一番頑張ってるお前が
そう言うなら、俺たちも
気合いれてくしかねエな…

…ふう

私は湯に
浸かってくる



やはり…

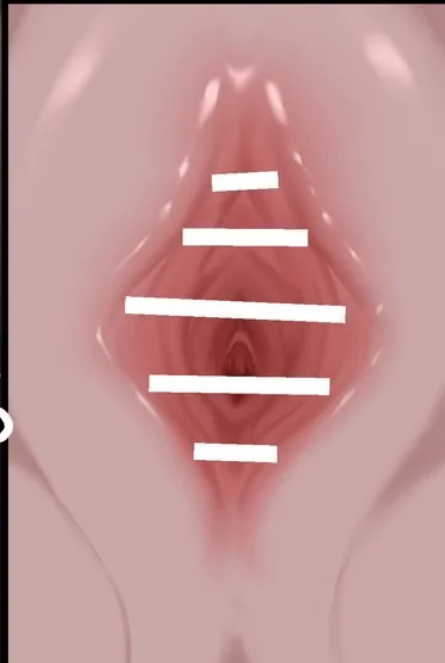
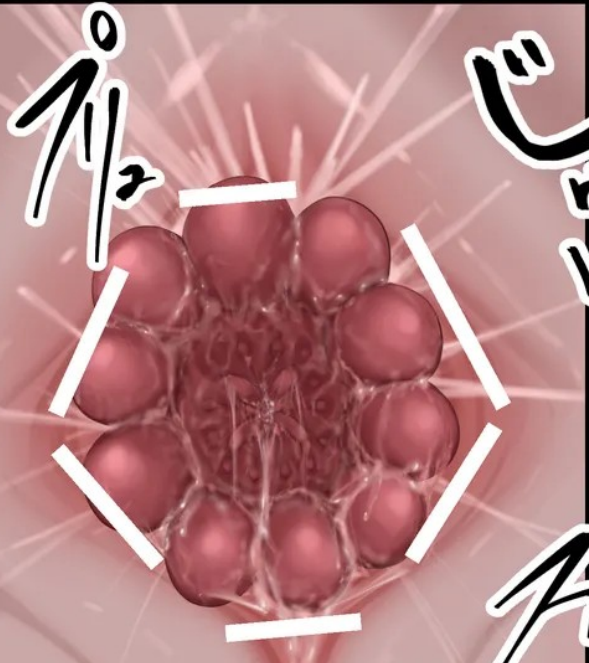
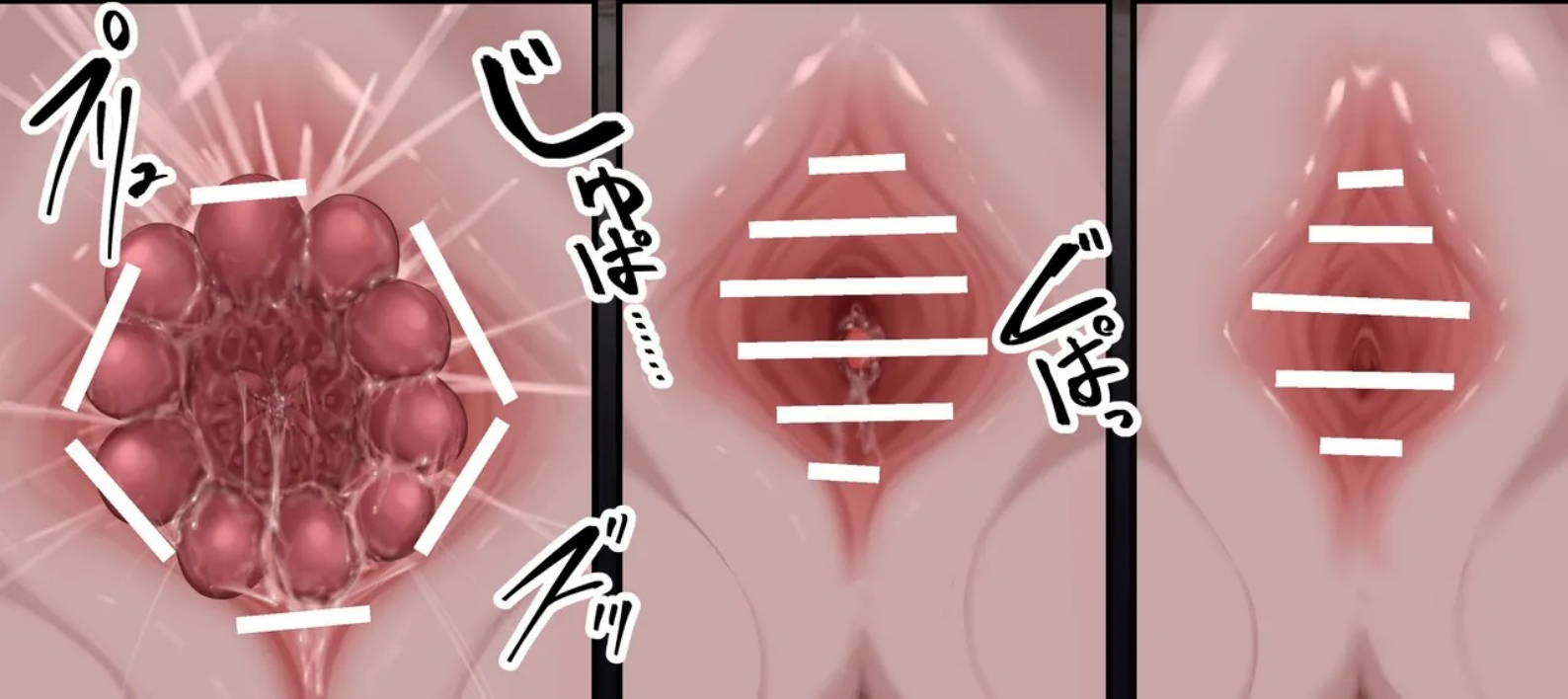
孕んでいたか……

おっ……





産まれる.....!!







魔物...!!

ザザザ

アッ



ズイ...

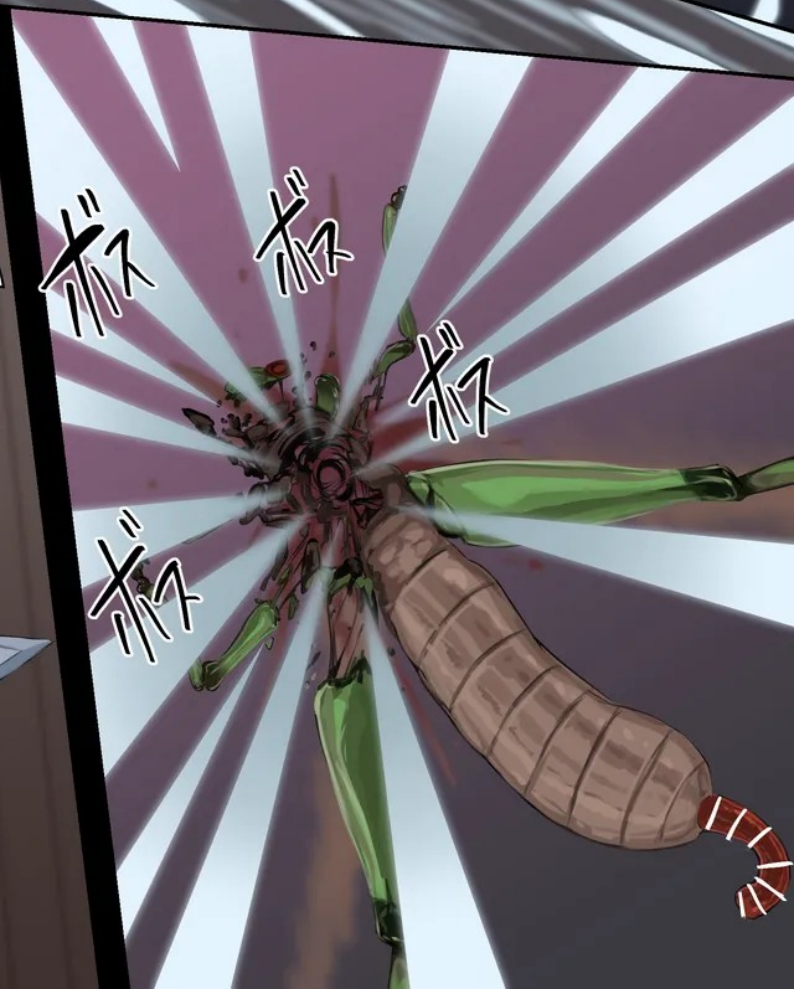
ズイ

ザザ

お

~~~~~





ってうおおおっ!!



す

すまん!!

わざとじゃ  
ねえんだ!!

.....。  
今仕留めた  
ところだ

状況は?





こいつで  
最後か…!!

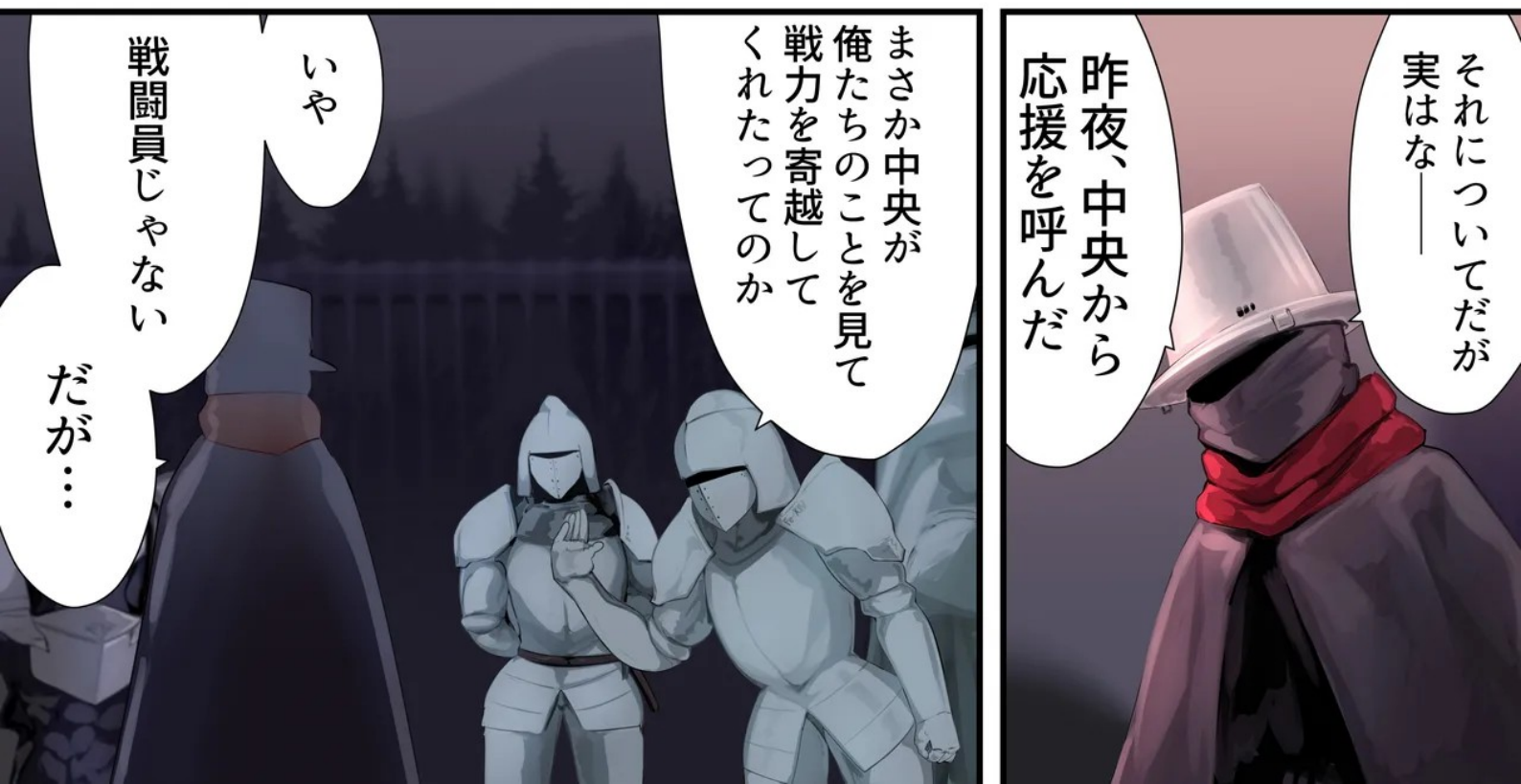
よし……



日を追うごとに  
魔物の強さが  
増してきている

このままでは  
ジリ貧だ

エタンダールさんは  
反対してるが……  
やはり街の  
衛兵に協力して  
もらうべきだ



それについてだが  
実はな――


昨夜、中央から  
応援を呼んだ

まさか中央が  
俺たちのことを見て  
戦力を寄越して  
くれたってのか

いや

戦闘員じゃない

だが……




この状況をどうにか  
してくれそうな人員だ



ああ

そうだ

こんな時に  
襲撃してくるとは



ここに1匹来たのを  
殲滅したのか

.....  
!!



やはり……  
1秒たりとも  
気が抜けないな



.....



ゆる...

TO BE CONTINUED



